

## 5. 成果の論文発表・口頭発表等

### (1) 東日本大震災教訓研究

#### (a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
佐藤翔輔, 今村文彦	東日本大震災における「見える復興」を目指した復興広報活動に関する実態調査・分析－宮城県内の被災自治体を対象にして－【査読有り】	地域安全学会論文集, No.24, pp.171-181,	2014年11月
佐藤翔輔, 今井健太郎, 大野晋, 齋正幸, 板原大明, 松尾敏彦, 今村文彦	徒歩と自動車を組み合わせた津波避難計画の策定－宮城県亘理町での実践－【査読有り】	土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No. 2, I_1371-I_1375	2014年11月
佐藤翔輔, 杉浦元亮, 野内類, 邑本俊亮, 阿部恒之, 本多明生, 岩崎雅宏, 今村文彦	災害時の「生きる力」に関する探索的研究－東日本大震災の被災経験者の証言から－【査読有り】	地域安全学会論文集, No.23, pp.65-73	2014年7月
佐藤翔輔, 今村文彦	東日本大震災の発生から3年間の被災者の心情－宮城県の被災者を対象にした東北大・河北新報合同継続調査から－【査読無し】	平成26年度東北地域災害科学研究集会	2015年1月
佐藤翔輔, Elizabeth MALY, 櫻井敬佑, 日置友智, Leo J.CHE, 柴山明寛, 今村文彦	震災アーカイブコンテンツの英語化と震災学習の両立をねらいにしたワークショップ手法の設計と試行【査読無し】	日本災害情報学会・日本災害復興学会合同大会 in 長岡, pp.116-117	2014年10月
中川政治, 尾形和昭, 宇田川真之, 阪本真由美, 佐藤翔輔, 山崎麻里子	被災地の震災伝承におけるAR技術活用の取り組み－石巻市における「防災まちあるき」実践事例－【査読無し】※日本災害情報学会・河田賞	日本災害情報学会・日本災害復興学会合同大会 in 長岡, pp.86-87	2014年10月
佐藤翔輔, 今村文彦, 川島秀一, 今井健太郎, 首藤伸	わが国における災害伝承に関する量的分析の試み【査読無し】	第33回日本自然災害学会年次学術講演会講演概	2014年9月

夫		要集, pp.1-2	
永村美奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	中小規模の災害対応プロジェクトに対する活動過程の体系的な記録手法の開発ー七ヶ浜町ボランティアセンターの活動を事例としてー【査読無し】	第33回日本自然災害学会年次学術講演会講演概要集, pp.xx-xx	2014年9月
佐藤翔輔, 坪田亜由子, 今村文彦	東日本大震災復興交付金事業に関する分析ー発災から3年間に岩手県・宮城県の沿岸市町村に適用された事業についてー【査読無し】	津波工学研究報告, Vol.31, pp.379-389	2014年8月
Nakamura, Y., S. Kodaira, M. Yamashita, S. Miura, G. Fujie, M. Strasser, K. Ikehara, T. Kanamatsu, K. Usami	Incoming sediments and its deformation observed on high resolution seismic profiles in the northern Japan Trench axis region	AGU Fall meeting 2014	2014年12月
東田光裕, 牧紀男, 竹本加良子, 西野隆博	復興過程の可視化に向けた研究ー復興モニタリングプロジェクトの紹介ー	地域安全学会梗概集, No.34, pp.91-94	2014年11月
Furumura, T.	Radiation and development of short- and long-period ground motions from the 2011 Off Tohoku, Japan, Mw9.0 earthquake, Journal of Disaster Research	Journal of Disaster Research, Vol.9 No.3, 281-290	2014年1月
古村孝志	東京の地下構造と長周期地震動リスク	地学雑誌 Vol123(No4), 434-450	2014年2月
古村孝志	京で挑む, 地震の強い揺れの再現そして予測	HPCI 戦略分野3, 地震津波ワークショップ	2015年2月13日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

震災教訓文献データベースー論文・報告書がしめす震災教訓の検索システムー  
<http://edbunken.irides.tohoku.ac.jp/TopPage?0>

## (2) 地震・津波被害予測研究

### (a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
寺島芳洋, 平井敬, 福和伸夫	堆積盆地構造が地震動の周期特性に及ぼす影響 3次元有限差分法を用いた検討	日本建築学会構造系論文集 第80巻, 第708号, 219-230	2015年2月
平井敬, 福和伸夫	地震観測記録と地盤構造モデルに基づく伝達関数を用いた任意の震源による地震動予測手法の検討	日本建築学会2014年度大会(近畿) 学術講演梗概集 構造II, 305-306	2014年9月
寺島芳洋, 平井敬, 福和伸夫	堆積盆地構造が地震動の周期特性に与える影響 - 3次元有限差分法を用いた検討 -	日本建築学会2014年度大会(近畿) 学術講演梗概集 構造II, 421-422	2014年9月
大庭拓也・野田利弘・中井健太郎・竹内秀	隣接家屋の影響を受ける戸建て住宅の液状化被害メカニズムの解明	土木学会第69回年次学術講演会 堤防小委員会, pp. 79-82	2014年9月
中村洋光・藤原広行・森川信之・清水智・若浦雅嗣・小丸安史・早川譲	南海トラフ地震を対象とした広域リスク評価のための将来建物・人口モデルの構築	第14回日本地震工学シンポジウム, pp.1195-1204	2014年12月4日
山崎雅人・曾根好徳	「中部圏応用一般均衡モデル」による巨大地震の経済被害評価 - 「中部圏地域間産業連関表(2005年版)」に準拠して -	中部圏研究, Vol.188, pp.80-95	2014年9月
山崎雅人	巨大地震の「経済被害」をどう読むか	安全工学, Vol.53, No.2, pp.94-99	2014年4月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定  
なし

## (3) 減災・防災対策研究

### (a) 成果の論文発表・口頭発表等

なし

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

なし

#### (4) 災害対応・復旧復興研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
澤 寄 裕 樹, 村 山 顕 人, 清 水 裕 之	ニューオーリンズ市統合計画 (UNOP) の策定に見る復興計画策定技法	日本建築学会技術報告集第 45 号, pp.735-740	2014 年 6 月
Keiichi SATO, Norio MAKI and Masaru TANAKA	Geographic Influence of Prior Local Demographics Trends on Earthquake Disaster Reconstruction	3rd International Conference on Urban Disaster Reduction	2014 年 9 月
佐 藤 慶 一, 牧 紀 男, 堀 田 綾 子, 岸 田 暁 郎, 田 中 傑	被災前の人口トレンドが被災地の地域人口構造へ与える影響－阪神・淡路大震災と新潟県中越地震を対象として－	地域安全学会論文集 No.24, pp.293-302	2014 年 11 月
村山顕人	防災・減災施策と空間形成 (パネルディスカッション資料)	国土交通省中部地方整備局, 地震・津波災害に強いまちづくりフォーラム, 名古屋国際センター別棟ホール	2015 年 3 月 6 日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

1) 地域特性評価システムの高度化

2) 津波被害シミュレーションの GUI の開発

#### (5) 防災・災害情報発信研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
倉田和己, 船越恵美, 福和伸夫	旧版地図を活用した時代別災害危険度の評価手法の開発 (その 1: データと手法の概要)	日本建築学会大会	2014 年 9 月
倉田和己, 曾根好	災害教訓を活用した防災・減災支援	日本災害情報	2014 年 10

徳	システムの研究開発	学会	月
水井良暢	災害時の自助・共助と災害情報プラットフォーム	自治体職員と考える防災情報システムの活用と社会への展開 合同会議	2014年10月
黄 欣悦, 田中淳, 磯打千雅子, 宇田川 真之, 三船恒裕	災害時のリスクコミュニケーションに関する研究－南海トラフ巨大地震想定地域を対象に－	社会情報学会	2014年9月
田中 淳・宇田川真之・三船恒之・磯打千雅子・地引泰人・黄欣悦	南海トラフ沿岸住民調査にみる避難意図の規定要因	日本災害情報学会	2014年10月
堀内茂木, 堀内優子, 飯尾能久, 澤田義博, 関根秀太郎, 中山貴史, 平原 聡, 河野俊夫, 長谷川 昭, 小原一成, 加藤愛太郎, 中野 優, 高橋成実, 小笠原宏, Denver Birch, Artur Cichowicz, Ali Pinar, Mustafa Erdik	人間以上に高精度の地震波自動読み取り システムの開発 (その7) ー理論エンベロープ波形と観測波形との比較による解析結果の評価ー	地震学会	2014年11月
田口仁, 李泰榮, 白田裕一郎, 長坂俊成	効果的な災害対応を支援する地理情報システムの一提案: 東北地方太平洋沖地震の被災地情報支援を事例として	日本地震工学会	2015年1月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定なし

(6) プレート・断層構造研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・仲西理子・尾鼻浩一郎・小平秀一・金田義行	宮古・八重山諸島周辺における構造探査および自然地震観測	日本地球惑星科学連合2014年大会	2014年4月29日
山下幹也・仲西理子・中村恭之・三浦誠一・小平秀一・金田義行	高知沖から紀伊半島沖における高分解能反射構造イメージング	日本地震学会2014年度秋季大会	2014年11月25日
高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・仲西理子・尾鼻浩一郎・小平秀一・金田義行	宮古・八重山諸島周辺における地震活動とランダム速度不均質構造	日本地震学会2014年度秋季大会	2014年11月25日
新井隆太・海宝由佳・高橋努・仲西理子・藤江剛・小平秀一・金田義行	琉球海溝最南端におけるフィリピン海プレートの沈み込み構造と地震テクトニクス	日本地震学会2014年度秋季大会	2014年11月26日
仲西理子・山本揚二郎・山下幹也・井和丸光・藤江剛・小平秀一・金田義行	四国沖から紀伊水道沖におけるフィリピン海プレートの構造	日本地震学会2014年度秋季大会	2014年11月26日
Nakanishi, A., Yamamoto, Y., Yamashita, M., Iwamaru, H., Fujie, G.,	Structural variation in the incoming Philippine Sea plate along the Nankai Trough	AGU Fall Meeting 2014	2014年12月19日

Kodaira, S., Kaneda, Y.			
Arai, R., Kaiho, Y., Takahashi, T., Nakanishi, A., Fujie, G., Kodaira, S., Kaneda, Y.	Back-arc rifting at a continental margin: A case study from the Okinawa trough	AGU Fall Meeting 2014	2014年12月19日
仲西理子・山下幹也・山本揚二郎・中村恭之・藤江剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行	四国沖から紀伊水道沖における南海トラフ周辺の構造調査 -KR14-05, KY14-07 航海報告-	ブルーアース 2015	2015年3月20日
新井隆太・海宝由佳・高橋努・仲西理子・藤江剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行	南西諸島南部における反射法・屈折法構造調査	ブルーアース 2015	2015年3月20日
高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・仲西理子・尾鼻浩一郎・小平秀一・金田義行	南部琉球弧における地震活動とランダム速度不均質構造	ブルーアース 2015	2015年3月20日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定なし

## (7)海陸津波履歴研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Ashi, J., Sawada, R.,	Accumulation of an earthquake-induced	Earth Planets and Space, 66, 51	2014年6月

Omura, A. and Ikehara, K.	extremely turbid layer in a terminal basin of the Nankai accretionary prism		
宇佐見和子・池原 研・ジェンキンズ・ロバート・芦寿一郎	底生有孔虫群集に基づくイベント堆積物の粒子給源の推定:2011年東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波による堆積物の例	堆積学研究, 73, 37-43	2014年9月4日
Kanamatsu, T., Kawamura, K., Strasser, M., Novak, B. and Kitamura, Y.	Flow dynamics of Nankai Trough submarine landslide inferred from internal deformation using magnetic fabric	Geochem. Geophys. Geosyst, 15, 4079-4092	2014年10月1日
Goto, K., Ikehara, K., Goff, J., Chague-Goff, C. and Jaffe, B.	The 2011 Tohoku-oki tsunami-Three years on	Marine Geology, 358, 2-11	2014年12月
宇佐見和子・池原 研・McHugh, C.・金松敏也	日本海溝下部陸側斜面のタービダイト-NT13-19次航海の成果から	日本地球惑星科学連合2014年大会	2014年4月29日
池原 研・宇佐見和子・西田尚央	細粒タービダイトの堆積と保存	日本地球惑星科学連合2014年大会	2014年4月30日
Ikehara, K., Kanamatsu, T., Usami, K., Strasser, M., Fink, H., Nagahashi, Y., Kodaira, S., Nakamura, Y., Tamura, T. and Ito, K.	Turbidite paleoseismology along the Japan Trench: Can we find the recurrence of the past large earthquakes using the Japan Trench sediments?	Asian Margins Evolution and Western Pacific Drilling Meeting	2014年5月19日
Ashi, J., Omura, A., Ikehara, K. and	Estimation of slip history of active faults in deep sea and some	11 <sup>th</sup> Annual Meeting, Asia Oceania Geoscience	2014年8月1日

Murayama, M.	problems: Application of remotely operated vehicle in the Nankai subduction zone	Society	
Ikehara, K., Usami, K., Iriho, T., Jenkins, R. and Ashi, J.	Deposition and preservation of the offshore event deposits by the 2011 Tohoku-oki earthquake and its related tsunami	11 <sup>th</sup> Annual Meeting, Asia Oceania Geoscience Society	2014年8月1日
Ikehara, K., Kanamatsu, T. and Iwai, M.	Depositional system in the western Muroto Trough, a forearc basin along the Nankai Trough, Japan, and its influence to estimate recurrence intervals of Nankai earthquakes using the deep-sea turbidites	19 <sup>th</sup> International Sedimentological Congress	2014年8月18日
Ikehara, K., Iriho, T., Usami, K., Jenkins, R.G., Ashi, J., Tamura, T. and Sawai, Y.	Shallow marine sediment deformation, erosion, resuspension and redeposition by the 2011 Tohoku-oki earthquake and its related tsunami along the Tohoku coast	19 <sup>th</sup> International Sedimentological Congress	2014年8月18日
宇佐見和子・池原 研・金松敏也・McHugh, C.	日本海溝陸側斜面のタービダイト堆積年代	日本地質学会第121年学術大会	2014年9月14日
Usami, K., Ikehara, K., Kanamatsu, T. and McHugh, C.	Seismo-turbidites in the Japan Trench inner slope	American Geophysical Union 2014 Fall Meeting	2014年12月18日
宇佐見和子・池原 研・金松敏也・McHugh, C.	日本海溝陸側斜面のタービダイトとして記録された巨大地震発生履歴	ブルーアースシンポジウム2015	2015年3月20日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

なし

**(8) 広帯域地震観測研究**

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
山下裕亮, 八木原寛, 清水洋, 内田和也, 平野舟一郎, 馬越孝道, 宮町宏樹, 中元真美, 福井海世, 神菌めぐみ, 兼原壽生, 山田知朗, 篠原雅尚, 小原一成	Migration episode of shallow low-frequency tremor at the Nankai Trough subduction zone	スロー地震研究会	2014年9月8日
山下裕亮, 八木原寛, 清水洋, 内田和也, 平野舟一郎, 馬越孝道, 宮町宏樹, 中元真美, 福井海世, 神菌めぐみ, 兼原壽生, 山田知朗, 篠原雅尚, 小原一成	日向灘における浅部低周波微動のマイグレーションに見られる特徴	日本地震学会 2014年秋季大会, S09-P07	2014年11月25日
Yamashita Y., H. Yakiwara, H. Shimizu, K. Uchida, S. Hirano, K. Umakoshi, H. Miyamachi, M. Nakamoto, M. Fukui, M. Kamizono, H. Kanehara, T. Yamada, M. Shinohara, and K. Obara	Migration Episode of Shallow Low-frequency Tremor at the Nankai Trough Subduction Zone: Seismological Evidence for Episodic Slow Slip Event Occurring at the Shallow Transition Zone	2014 AGU Fall Meeting, S53C-4528	2014年12月19日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

なし

**(9) データ活用予測研究**

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
鈴木翔太・伊藤武男・里嘉千茂・兵藤守	粘弾性応答を考慮した 2011 年東北沖地震の余効すべりの時空間分布	日本地球惑星科学連合 2014 年大会	2014 年 4 月 30 日
Uchida, N., K.	Postseismic response of	J. Geophys. Res., 120,	2015 年 1

Shimamura, T. Matsuzawa, and T. Okada	repeating earthquakes around the 2011 Tohoku-oki earthquake: Moment increases due to the fast loading rate	259-274, doi:10.1002/2013JB010933	月 22 日
藤本博己, 日 野亮太, 木戸 元之, 伊藤喜 宏, 太田雄策, 飯沼卓史, 長 田幸仁, 稲津 大祐, 鈴木秀 市, 佐藤俊也, 立花憲司, 出 町知嗣, 三浦 哲	海陸統合測地観測に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震 に関する研究	測地学会誌, 60(1), 1-22, 2014	2014 年 5 月 3 日
Satriano, C., V. Dionicio, H. Miyake, N. Uchida, J.-P. Vilotte, and P. Bernard	Structural and thermal control of seismic activity and megathrust rupture dynamics in subduction zones: Lessons from the Mw 9.0, 2011 Tohoku earthquake	Earth Planet. Sci. Lett. 403, 287-298, doi:10.1016/j.epsl.2014.06.03 7	2014 年 7 月 26 日
Ohta Y., R. Hino, K. Ariyoshi, D. Inazu, K. Tachibana, T. Demachi, S. Miura	Geodetic characteristic of the postseismic deformation following the interplate large earthquake in and around the Sanriku-Oki region, Japan	GENAH2014, 松島	2014 年 7 月 23 日
Shirzaei, M., R. Burgmann, N. Uchida, Y. Hu, F. Pollitz, and T. Matsuzawa	Seismic versus aseismic slip: Probing mechanical properties of the northeast Japan subduction zone	Earth Planet. Sci. Lett., 406, 7-13, doi:10.1016/j.epsl.2014.08.03 5	2014 年 9 月 26 日
Nakata, R., M. Hyodo, and T. Hori	Possible slip history scenarios for the Hyuga-nada region and Bungo channel and their relationship with Nankai earthquakes in southwest Japan	J. Geophys. Res.	2014 年 5 月

	based on numerical simulations		
中田令子・有吉慶介・兵藤守・堀高峰	2011年東北地方太平洋沖地震の前に発生したスロースリップイベントの数値シミュレーション	地球惑星科学連合 2014 年大会, SCG64-20	2014 年 4 月 30 日
中田令子・有吉慶介・兵藤守・堀高峰	数値シミュレーションから推定される 2011 年東北地方太平洋沖地震後の宮城県沖地震の発生間隔	日本地震学会 2014 年秋季大会, S08-P06	2014 年 11 月 25 日
Nakata, R., K. Ariyoshi, M. Hyodo, and T. Hori	Numerical Simulation of Earthquake Generation Cycles before and after the 2011 Tohoku-Oki Earthquake in Northeast Japan	American Geophysical Union Fall Meeting, G43B-0514	2014 年 12 月 18 日
安藤亮輔	3次元非平面断層に適用可能な動的境界積分方程式法の高速化	日本地震学会 2014 年秋季大会	2014 年 11 月 26 日
Ryosuke Ando	New Efficient Dynamic 3-D Boundary Integral Equation Method applicable to Non-Planar Fault Geometry Dipping in Elastic Half Space	American Geophysical Union 2014 Fall Meeting	2014 年 12 月 16 日
Nishimura, T.	Short-term slow slip events along the Ryukyu Trench, southwestern Japan, observed by continuous GNSS	Progress in Earth and Planetary Science, 1.1, 1-13	2014 年 9 月
Yamagiwa, S., S. Miyazaki, K. Hirahara, and Y. Fukahata	Afterslip and viscoelastic relaxation following the 2011 Tohoku-oki earthquake (Mw9.0) inferred from inland GPS and seafloor GPS/Acoustic data	Geophys. Res., Lett., 42, 66-73, doi:10.1002/2014GL061735	2015 年 1 月
加納将行・宮崎真一・石川洋一・日吉善久・伊藤耕介・平原和朗	GPS データの同化による余効すべり域の摩擦パラメータの推定:2003 年十勝沖地震への適用	日本地球惑星科学連合 2014 年大会、SSS33-P06	2014 年 4 月 30 日
奥田亮介・平原和朗・宮崎真一・加納将行・大谷真紀子	八重山スロースリップの時空間発展シミュレーション	日本地球惑星科学連合 2014 年大会、SCG64-P05	2014 年 4 月 30 日

奥田亮介・平原和朗・宮崎真一・大谷真紀子・加納将行	アンサンブルカルマンフィルタを用いたスロースリップを引き起こす断層面上の摩擦パラメータ推定についての数値実験	日本測地学会第122回講演会	2014年11月6日
加納将行・宮崎真一・平原和朗・石川洋一・日吉善久・伊藤耕介	すべり速度の同化による2003年十勝沖地震余効すべり域の摩擦パラメータの推定	日本測地学会第122回講演会	2014年11月6日
奥田亮介・平原和朗・宮崎真一・加納将行・大谷真紀子	アンサンブルカルマンフィルタを用いたスロースリップを引き起こす断層面上の摩擦パラメータ推定についての数値実験	日本地震学会2014年秋季大会、A31-110	2014年11月25日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定  
なし

#### (10) 震源モデル構築・シナリオ研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
R. Agata, T. Ichimura, K. Hirahara, M. Hyodo, T. Hori, M. Hori,	Several Hundred Finite Element Analyses of an Inversion of Earthquake Fault Slip Distribution using a High-fidelity Model of the Crustal Structure	Procedia Computer Science	2014年6月
R. Agata, T. Ichimura, K. Hirahara, M. Hyodo, T. Hori, M. Hori,	Basic Study on Physics-Based Fault Scenario- Estimation of Coseismic Slip Distribution Using Enhanced Inversion Analysis Method with Three-Dimensional High-Fidelity Model of Crustal Structure	The 1st International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems	2014年4月

R. Agata, T. Ichimura, K. Hirahara, M. Hyodo, T. Hori, M. Hori	Large-scale finite element simulation of coseismic and postseismic crustal deformation using a high-fidelity model	Asia Oceania Geosciences Society	2014年7月
縣亮一郎, 市村強, 平原和朗, 兵藤守, 中野優, 堀高峰, 堀宗朗	津波波源推定高度化を目指した高詳細地殻変動解析に関する基礎的研究	地震工学研究発表会	2014年10月
縣亮一郎, 市村強, 平原和朗, 兵藤守, 堀高峰, 橋本千尋, 堀宗朗	高詳細モデルを用いた余効変動の大規模粘弾性有限要素シミュレーション	日本地震学会秋季大会	2014年11月
縣亮一郎, 市村強, 平原和朗, 兵藤守, 堀高峰, 堀宗朗	地殻構造の高詳細有限要素モデルの導入が津波解析にもたらす影響の考察	土木学会第69回年次学術講演会	2014年9月
縣亮一郎, 市村強, 平原和朗, 兵藤守, 堀高峰, 堀宗朗	高詳細モデルを用いた地震時・地震後地殻変動の大規模有限要素シミュレーション	日本地球惑星連合大会	2014年5月
縣亮一郎, 市村強, 平原和朗, 兵藤守, 堀高峰, 堀宗朗	地殻構造の高詳細な有限要素モデルを用いた震源断層すべりによる海底面鉛直変位推定手法について	日本地震工学シンポジウム	2014年12月
平原和朗, 大谷真紀	列島規模海溝型地震サイクルシミュレーション	日本地震学会 2014年秋季大会、A31-11	2014年11月26日
清水宏幸, 平原和朗	2011年東北地方太平洋沖地震サイクルの動的効果を含む2次元スペクトル要素法シミュレーション	日本地震学会 2014年秋季大会、S08-P04	2014年11月25日
Ohtani, M. and K. Hirahara	Effect of the Earth's surface topography on the quasi-dynamic	AGU2014 Fault Meeting, S33B-4532	2014年12月

	earthquake cycl		
Shimiu, H. and K. Hirahara	Two-dimensional spectral-element simulations of earthquake cycle at subduction zones	AGU2014 Fault Meeting, S33B-4515	2014年12月
Hashimoto, C., E. Fukuyama, and M. Matsu'ura	Physics-based 3-D simulation for earthquake generation cycles at plate interfaces in subduction zones	Pure Appl. Geophys.	2014年9月 (Online first は 2013年11月)
Xu, S., E. Fukuyama, Y. Ben-Zion and J. P. Ampuero	Dynamic rupture activation of backthrust fault branching	Tectonophys.	2015年2月
兵藤守, 堀高峰, 金田義行	近傍での地震発生が南海トラフ巨大地震発生に及ぼす影響	日本地震学会 2014 年秋季大会、C22-11	2014年11月25日
原田智也・佐竹健治・古村孝志	南海トラフ沿いで想定された最大クラスの巨大地震による西太平洋・東シナ海の津波伝播シミュレーション	日本地球惑星科学連合 2014 年大会	2014年5月
鳴橋竜太郎・佐竹健治	五ヶ所湾における安政東海地震津波 (1854) の津波高	日本地球惑星科学連合 2014 年大会	2014年5月
Harada T., K. Satake, and T. Furumura	Tsunami simulation in the Western Pacific Ocean and East China Sea from the assumed M9 earthquakes along the Nankai trough	AOGS Annual Meeting 2014	2014年8月
Naruhashi R. and K. Satake	Distributions of Tsunami Heights of the 1854 Ansei-Tokai Earthquake Tsunami along the Coast of Gokasho Bay, Mie Prefecture, Central Japan.	AOGS Annual Meeting 2014	2014年8月
原田智也・室谷智子・佐竹健	1944年東南海地震・1946年南海地震のアンケート	第31回歴史地震研究会 (名古屋大会)	2014年9月

治・古村孝志	調査による震度分布		
鳴橋龍太郎・原田智也・佐竹健治	安政東海地震津波（1854）における五ヶ所湾地域の被害状況	第 31 回歴史地震研究会（名古屋大会）	2014 年 9 月
原田智也・室谷智子・佐竹健治・古村孝志	1944 年東南海地震のアンケート調査による震度分布	日本地震学会 2013 年度秋季大会	2014 年 11 月
鳴橋龍太郎・原田智也・佐竹健治	宝永地震津波（1707）における五ヶ所湾地域の被害状況	日本地震学会 2013 年度秋季大会	2014 年 11 月
Harada T., S. Yokoi, and K. Satake	Significant foreshock activities of M>7.5 earthquakes in the Kuril subduction zone	AGU 2014 Fall Meeting	2014 年 12 月
Naruhashi R., K. Satake, M. Heidarzadeh, and T. Harada	Comparison between Observed Tsunami Heights and Numerical Simulation of the 1854 Ansei-Tokai Earthquake Tsunami in Gokasho Bay, central Japan	AGU 2014 Fall Meeting	2014 年 12 月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定  
なし